

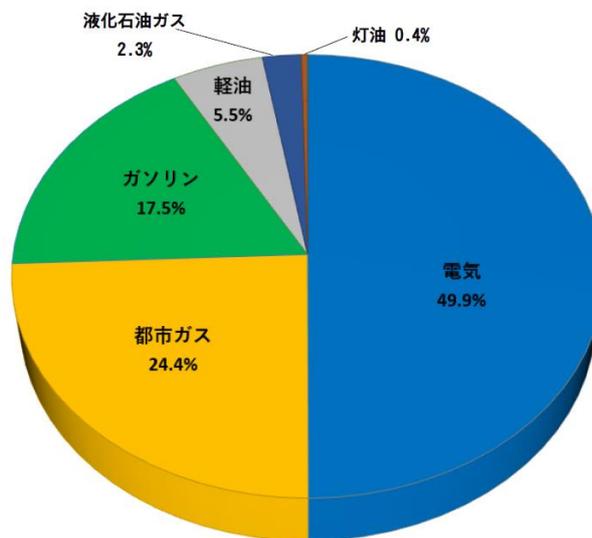
令和3年度施策結果について（公表）

令和4年5月9日

1 令和3年度温室効果ガス（CO₂）排出量

令和3年度 項目別温室効果ガス（CO₂）排出割合

排出量 燃料等	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
電気	529.76
都市ガス	258.58
液化石油ガス	24.71
ガソリン	185.24
軽油	58.23
灯油	3.91
合計	1060.43



2 基準年度（平成25年度）との比較

(排出量の単位：t-CO₂)

燃料等 使用量等	電気 (kWh)	都市ガス (N m ³)	液化石油ガス (m ³)	ガソリン (ℓ)	軽油 (ℓ)	灯油 (ℓ)	液化天然ガス (m ³)	合計	
H 25	使用量	1,084,490	106,985	4,945	71,473	24,155	3,035	1,796	—
	排出量	583.93	239.01	26.69	165.94	62.44	7.56	1.80	1,087.37
R 2	使用量	1,211,839	124,524	5,087	73,979	22,140	1,051	—	—
	排出量	559.87	278.19	27.46	171.75	57.23	2.62	—	1,097.12
R 3	使用量	1,146,678	115,748	4,579	79,790	22,525	1,572	—	—
	排出量	529.76	258.58	24.71	185.24	58.23	3.91	—	1,060.43
排出量増減率 (%) 基準年度との比較	-9.28	8.19	-7.42	11.63	-6.74	-48.28	—	-2.48	
排出量増減率 (%) 前年度 (R2) との比較 (参考)	-5.37	-7.05	-10.01	7.85	1.75	49.24	—	-3.34	

※液化天然ガスは、平成29年度に供給設備を廃止したため、以後の使用実績はありません。

3 項目別検証

基準年度と比較し、CO₂排出量を2.48%削減することができました。目標値である6%の削減に向けて引き続き施策を講じてまいります。

ガソリンのみCO₂排出量が増加していますが、自動車燃料については業務特性上、消防・救急車両の使用量調整は見込めないため、その他公用車の効率的運用を引き続き行ってまいります。